

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別の御厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、アジア太平洋経済協力会議(APEC)や生物多様性条約締約国会議(COP10)など、今後の経済情勢に関わる重要な会議が日本で開催され、経済と環境の両面を考えさせられる年となりました。しかし私たちを取り巻く経済情勢は依然として厳しく、景気回復傾向とされながらも実際は不透明で、先行きの見えない状況であり一昨年にも増して非常に厳しい年でありました。

これまで弊社の生ごみの肥料化リサイクルの取り組みが、CO2削減方法の一つとして評価され、神奈川県のリサイクル製品認定を受けることとなりました。今後も多様化するお客様のニーズに合わせ、リサイクルのご提案ができるよう努力して参りたいと思います。

貴社のご発展と益々のご健勝を役員並びに社員一同、お祈り申し上げます。

本年も何卒、倍旧のご愛顧のほど、お願い申し上げます。

平成23年元旦

代表取締役会長 赤石 光成
代表取締役社長 赤石 賢治



かながわりサイクル製品に認定 ～サンリョウ有機～

～ 第1回認定証交付式

弊社の「サンリョウ有機」がリサイクル製品に認定され、神奈川県主催の「かながわりサイクル認定製品第1回認定証交付式」が平成22年10月19日に行われました。

松沢神奈川県知事は、「県及び県内市町村に対して、循環型社会の実現に向けてリサイクル製品の利用を積極的に呼びかけていきたい」とあいさつし、県内事業での積極的購入の考えを示しました。

弊社以外にも、園芸用プランター、作業用手袋、食器など、6社13製品が認定されました。



～かながわりサイクル製品認定制度～

「かながわりサイクル製品認定制度」は、神奈川県が本年4月に創設した認定制度です。廃棄物の発生抑制、資源の循環的な利用促進、県内のリサイクル産業の育成と振興、循環型社会の形成を目指すことを目的に作られました。リサイクル製品の品質、安全性について神奈川県の基準を満たしたものが認定されます。認定製品は、神奈川県がPRを行い、リサイクル製品の利用促進を促します。審査は、県職員と多方面の識者によって、何ヶ月も協議を行い、可否を判定します。



～ 認定製品 サンリョウ有機 ～

「サンリョウ有機」は、神奈川県愛川町にある弊社肥料工場「三凌愛川リサイクルセンター第2工場」で製造されています。当工場は、神奈川県内初の密閉型プラントとなっており、厳しい環境監査をクリアしたISO14001の認証取得工場でもあります。食品関連工場から出る野菜くずや畜産業から出る牛ふんとおが屑を発酵させて肥料を作ります。発酵温度が約90度になるため、雑菌や回虫卵等を死滅させながら、安全安心な有機肥料「サンリョウ有機」にリサイクルします。肥料は、おが屑から作られているため団粒化構造に土壌を改善し、作物の根張りや水はけを良くし、作物の成育を助けます。誰でも扱いやすい肥料のため、幅広い用途に使用することができます。

サンリョウ有機は、本社(町田市)、相模原支社、愛川支社でも直接販売を行っていますので、是非一度お試下さい。

詳しくはこちらをご覧ください→ 三凌有機HP <http://www.sanryo-yuki.jp/>



シリーズ サンリョウの仕事 ～テクノプラザ～

今回は、神奈川県にある産業廃棄物のリサイクルを行う施設、テクノプラザ(三凌愛川リサイクルセンター第4工場)で働くスタッフの紹介をします。大きな重機を手足のようには器用に操るスタッフやベルトコンベアで流れてくる廃棄物を熟練された目で種類ごとに手選別を行うスタッフ、手選別がやりやすくなるように大きな廃棄物を解体・選別を行うスタッフなど、当社廃棄物リサイクルの要のスタッフ達です。

今泉工場長(写真中央下)を中心に、皆様から日々いただいている廃棄物をいかにリサイクルするのが、スタッフ全員で意見を出し合い考えながら、最大限のリサイクルができるよう努力しています。作業のほとんどが屋外であるため、特にこの季節は寒さとの戦いです。年末年始から年度末に出される不用品のリサイクルは、当工場のスタッフにお任せ下さい。

※ お問い合わせは営業スタッフ古舘まで TEL 042-726-2647



今泉工場長(中央)を中心に
これからも、がんばります!!